



▲中野七夕

▼金山七夕



金山七夕・中野七夕(8月13日)

比内地域で、お盆恒例の七夕行事と盆踊りが行われました。三岳地区中野町内では、竿灯(かんと)のような絵灯ろうが練り歩く中野七夕が行われ、灯ろうに囲まれた中で打ち鳴らす子どもたちの太鼓の演奏に、観客からは大きな拍手と声援が送られていました。



▲大高盆踊り

また、大葛地区では金山七夕が行われ、直径1mの太鼓を打ち鳴らしながら金山墓地や神社の跡地などを回り、先祖の霊を慰めました。夜は合同の盆踊り・花火大会が開かれ、参加者は過ぎ行く夏を楽しみました。



夜空を彩る大輪の花

花矢夏祭り

(8月13日)

花矢地区の夏祭りが花岡体育館特設会場で開かれ、夜空に咲く花火を楽しみました。

花火は花岡中卒業生有志で組織する花の会(代表山本敦氏)が主催して行われたもの。

鉱山の衰退で行われなくなってしまった花火を、一昨年に有志が費用を持ち寄り復活させて、今年で3回目を迎えます。

地域内外に協賛金を募ったところ、今年は500発の花火が用意され、次々と打ち上げられる色鮮やかな大輪の花に、観客からは歓声が上がっていました。



新たな一歩を踏み出し笑顔いっぱい

大人の自覚と決意を胸に(8月15日)

市主催の成人式が市民文化会館で行われ、653人が大人の仲間入りをしました。

会場には、スーツや華やかなワンピースなどに身を包んだ新成人が勢ぞろい。市長や来賓からの祝辞のあと、新成人を代表して福士拓哉さんが「家族や地域の期待に沿える人間になることを誓う」と力強くあいさつしました。

新成人たちは、来賓として招かれた恩師に近況報告したり、久しぶりの友人と写真を撮り合ったりして、旧交を温めていました。

ひなない盆まつり(8月16日)

大館北秋商工会主催のひなない盆まつりが米代川河川敷で行われ、たくさんの人でにぎわいました。

このまつりは、灯ろうで祖先の供養をするもの。

会場には、灯ろうを持つた地区の皆さんが集まり、送り太鼓と読経が流れる中、願いを込めた灯ろうを次々に川に流しました。夕闇にぼつかりと揺らめく灯ろうは、幻想的な雰囲気醸し出し、詰め掛けた地元のかたや帰省客などがそれぞれに見送っていました。

最後は打ち上げ花火で締めくくり、観客からは歓声と拍手が沸き上がっていました。



水面に揺らめく灯ろうは幻想的

旬の味覚 アユを味わい楽しむ(8月22日)

田代地域の名物、アユをPRする第44回「大鮎の里ふるさとまつり」が、外河原の米代川河川緑地(釣りきち広場)で行われました。

会場にはたくさんの出店が立ち並び、名物アユの千匹焼きでは、買い求める人たちの列が出来ていました。

また、イワナ、ニジマスのつかみ獲りには大勢の子どもたちが参加。中には水をかぶってしまう子や、手から逃げ出す魚もいて、周囲は笑いに包まれていました。



たくさんのかたが買い求めたアユの「千匹焼き」